

# 週刊新社会

10月17日 2017年号外 野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円  
http://www.sinsyakai.or.jp/  
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

来週の本号外は本紙が休刊のため休みます。

## そもそも 教員の長時間勤務問題 時間外の部活設定は違法じゃね？

おさなみ議員は6月議会に続いて9月議会でも教員の長時間労働対策について質問した。

8月末に中教審特別部会で、①校長及び教育委員会は学校において「勤務時間」を意識した働き方を進めること、②全ての教育関係者が学校・教職員の業務改善の取組を強く推進していくこと、③国として持続可能な勤務環境整備のための支援を充実させることを柱とした、「学校における働き方改革に係る緊急提言」が出されたためだ。

野田市はすでに今年度中に一番長時間労働に影響を与えている部

活動のガイドラインを策定するために動いている。

また今年度から全小学校に学級事務支援員を配置して印刷等の支援を行い、来年度には校務支援システムを導入する。

しかし、問題は人の配置であり、残業を命じられないにもかかわらず、平然と部活終了時間が勤務時間外に設定され、早朝練習も行われている。違法そのものである。

この課題を改めない限り、パソコンソフト

で出退勤管理をしてもブラック勤務状態は変わらない。

勤務時間中に、6時間を超える場合は45分、8時間を超える場合60分の休憩という、労働基準法の最低基準はおそらく空洞化しているだろう。

学校にも勤務時間という世間の常識を浸透させなければならない。そのためにはいくら実質残業しても本給の4%上積みするだけの給特法を廃止して、大幅な定員増等を行わなければならない。文科省の責任は重大だが、現場の声を伝えない教育委員会の責任も重い。



日本共産党わたなべ隆夫候補と14日、いなげや前の街頭宣伝で。左は織田真理議員。

おさなみ議員は今後16日17時から新鎌ヶ谷駅前、20日11時いなげや前で街頭の予定。



愛宕駅仮線工事（写真右半分）。新たなホームや跨線橋ができつつある。

### 10 / 19 国会議員会館前行動

10月19日（木）18:30～ 国会議員会館前  
主催 総がかり行動実行委員会

### 11 / 3 安倍9条改憲NO！国会包囲大行動

11月3日（金・休）14:00～15:30 国会周辺  
主催 安倍9条改憲NO！全国市民アクション  
総がかり行動実行委員会

# ファシズムの初期症状にみるアベ政治

下記は米国ホロコースト記念博物館に展示されている、政治学者ローレンス・ブリット氏による「ファシズム（独裁恐怖政治）の 14 の初期兆候」（原文は英語）。アベ政治との違いは？

- 1 強情なナショナリズム
- 2 人権の軽視
- 3 国内統合を目的とした敵国づくり
- 4 軍事優先・熱烈な軍国主義
- 5 性差別の蔓延
- 6 メディアの統制
- 7 国家安全保障（治安）への執着
- 8 宗教と支配層エリートの癒着
- 9 企業を保護
- 10 労働者を抑圧
- 11 知性と芸術の軽視と抑圧
- 12 犯罪厳罰化への執着
- 13 縁故主義と不正の蔓延
- 14 不正選挙



譲れないもの  
暮らし、平和、  
憲法。



ひびく声は支配者の声だけで  
市場では搾取ががなる、本番はこれから。  
しかも被支配者の多くが知っている、  
ぼくらのぞむことはできっこない。  
生きているかぎり、できっこないとはいうな！  
堅固なものも堅固ではない。  
変わらずにいるものはない。  
支配者がしゃべりおえれば  
被支配者が口をひらくのだ  
なんで、できっこない、などというのか？  
圧政が続くなら誰のせいだ？ ぼくたちのだ。  
それが打ち碎かれるなら？ やはりぼくたちのだ。  
うちのめされるままにまかせず、立ちあがれ！

（『弁証法をたたえる』 ブレヒト 野村修訳から抜粋）